

製品名 プリンテリア PFY100S

概要

- ・「PFY100S」は当社指定の大判インクジェットプリンタで画像やデザインを描画・出力・加工するデジタルプリント用の壁紙で、室内壁面装飾として幅広い用途での使用が可能です。
- ・認証木材やその他の管理された供給源から製造されたパルプを主成分としたフリース（不織布）を主原料としており、塩ビを使用していないため、人にも環境にも配慮されたデジタルプリントフリース壁紙です。
- ・内装材（壁紙）として使用する際に必要とされる国土交通大臣認定の「不燃材料認定」ならびに「F☆☆☆☆認定」を取得しており、安心・安全の製品設計となっております。

特徴

- ・寸法安定性に優れ、位置合わせがしやすく施工後にジョイント部が開きにくい（目開きしにくい）デジタルプリント壁紙
- ・表面のエンボス柄（風合い）は1種ラインアップ（フラットタイプ）
- ・写真やイラスト、グラフィックデータを用いて、1mからオリジナルの壁紙の製作が可能
- ・小ロット対応が可能のため、余分な在庫や廃棄が発生いたしません（必要量だけの製作が可能）

用途

壁面装飾およびディスプレイ（小売店舗、ショールーム、レストラン、ホテル、オフィス、アミューズメント施設、病院、一般住宅等）

製品の構成

種類	フラット (画像再現性の高いフラットタイプ)	
品番	PFY100S	
製品の構成	フリース（不織布）+受容層	
規格サイズ	960mm幅 × 25m巻	960mm幅 × 50m巻
厚み*1	340μm	
坪量*1	194g/m ²	
防火認定番号*2	NM-5450 / 法定不燃材料（金属板を除く）	
F☆☆☆☆認定番号*2	MFN-3734	
対応プリンタ*3	当社指定プリンタ（純正インクのみ対応）*4	

- * 1) 壁紙製品のため計測する箇所や製品ロットによって計測値は多少前後します。予めご了承ください。
- * 2) 各種認定番号の確認については、国土交通省の大臣認定書（写し）を別途ご用意しております。各種認定の運用につきましては、当社指定の運用講習の受講が必要な場合があります。詳しくは当社までお問い合わせください。
- * 3) 当社担当営業までお問い合わせください。
- * 4) 純正インクとは、プリンターメーカーの標準純正インクのことです。他メーカーのOEMインクやサードパーティ製のインクは認定の適用外となります。



防火認定を取得している下地材について

不燃材料を定める件（建設省告示第1400号）金属板を除く

建築基準法施行令第108条の2各号(建築物の外部の仕上げに用いるものにあつては、同条第一号及び第二号)に掲げる要件を満たしている建築材料は、次に定めるものとする。

- 一 コンクリート
- 二 れんが
- 三 瓦
- 四 陶磁器質タイル
- 五 繊維強化セメント板
- 六 厚さが3ミリメートル以上のガラス繊維混入セメント板
- 七 厚さが5ミリメートル以上の繊維混入ケイ酸カルシウム板
- 八 ガラス
- 九 モルタル
- 十 しっくい
- 十一 石
- 十二 厚さが12ミリメートル以上のせっこうボード（ボード用原紙の厚さが0.6ミリメートル以下のものに限る。）
- 十三 ロックウール
- 十四 グラスウール板

推奨施工糊

品番	タイプ	主成分	容量	施工可能面積*5
プリンテリアボンドS	でん粉系接着剤 (原液使用タイプ)	エステル架橋化小麦澱粉、 エチレン酢ビ共重合エマルジョン	18kg入り (6kg×3袋)	100～120㎡ (18kgあたり)

* F☆☆☆☆認定取得済/JIS A 6922 (2021)

* 原液使用タイプとなりますので、使用時に水は加えないでください。

* 5) 壁紙の種類や下地によって差があります。

ご注意

- ・本資料に記載されている数値等は、弊社の試験結果に基づくものであり、保証するものではありません。
- ・実際の用途に適合した事前の検証をお願いします。
- ・開封後はなるべく早めにご使用ください。
- ・下記の保管方法をご確認ください。
- ・突合せや同一面で使用される場合は、同一ロットをご使用ください。
- ・インクの種類によって、施工時や施工後の傷および衣類への移染の恐れがあります。
- ・特殊な用途にご使用の場合は、あらかじめご相談ください。

◇保管方法について

- ・保管される場合は、低温、高温、多湿を避けてください。
- ・水分、薬品などがつかないようにし、衝撃は避けてください。
- ・ポリエチレン包装等を使用し、外気を遮断してください。
- ・直射日光や至近距離からの蛍光灯照射などは避けてください。
- ・保管環境は原則タテ置き（横積厳禁）としてください。



◇出力・加工について

- ・メディアの出力面は直接手で触れないようにしてください。皮脂、油分、汚れ、傷などがプリント品質不良の原因となる場合があります。
- ・使用されるプリンターの種類やプリント条件により、出力品質に差が生じる場合があります。事前に確認されることをお勧めします。
- ・プリント後、インクが十分に乾燥するまでは後加工を行わないでください。インクの乾燥時間については各プリンターメーカーにお問い合わせください。
- ・コーティング加工は行わないでください。

◇施工について

- ・別紙施工マニュアルをご用意しております。必ずよく読んで施工をしてください。

-
- * 製品についてご不明点などございましたら、お問い合わせください。
 - * 本書は、本製品に関する製品情報を提供するものであり、性能や品質を保証するものではありません。
 - * 製品の仕様および外観は予告なく変更させていただくことがあります。

